

令和7年度 第4回定例庁議 議事報告

開催日時：令和7年7月9日（水）午後1時15分 開会

開催場所：笛吹市役所本館302会議室

【進行：政策課長】

1 開会

2 市長あいさつ

本日は、二点伝えることがある。

一つ目は、参議院議員選挙についてである。期日前投票の件数が、3年前と比べて、2倍ほどに増えているとのことだ。それがすべて投票率に反映されるわけではないが、有権者の選挙に対する意識が変化していることを感じるとともに、利便性の高い投票環境が確保できているとも考えられ、喜ばしいことである。7月20日には、投開票が行われる。職員には、休日の対応を求めることとなるが、間違えのないように十分注意し、事務に従事すること。

二つ目は、北海道や九州で相次いで発生している地震についてである。一部では火山噴火の可能性も懸念されている。総務部長を先頭に、万一の備えを十分徹底すること。各部局においても、いつ大規模な災害が発生してもおかしくない状況であることを十分認識するとともに、今できる備えを改めて点検し、万全を期すこと。

3 協議・報告事項（議長：副市長）

(1) 笛吹市過疎地域持続的発展計画について（総合政策部）

説明：総合政策部長

【説明内容】

資料に沿って説明（政策課長）

【質問意見等】

（副市長）

資料のスケジュールに記載のある「地域課題の収集（芦川支所）」や

「各課事業取りまとめ確認作業」、「地域課題への対応を提示（各担当課）」について、もう少し具体的に説明してほしい。

（政策課長）

まず、各課への事業照会を通じ、新しい5年間の計画の中で、どのような事業を行っていくのかを回答してもらおう。それを受けて、政策課で事業の内容について確認等を行う。

また、これと並行して、芦川支所を通じて各地区に地域課題の照会を行っており、その回答により地域から出された課題やニーズについて、どのような対応を行っていくのか、どのような事業によりこれを解決しようとしていくのか、改めて各課に照会を行う。これについて、各課で検討の上、政策課に回答していただくという流れを考えている。

（副市長）

各担当課で想定する課題や、それに対する取組、事業をまず挙げた中で、支所から上がってきた地域の課題ニーズと突合し、不足している点を補ったり、逆に地域では課題としていない点について、事業を整理するなど、すり合わせをしていくということか。

（政策課長）

そのとおり。基本的には、各課が普段の業務の中で感じていることについて、想定される事業を挙げていただいた上で、さらに地域からの課題やニーズを把握していただき、それをもとに事業をまとめていくことを考えている。

（副市長）

地域の声を最も身近に感じているであろう支所の関わりがあまり見えてこないが、支所は単に区長会の取りまとめをするということか。

（政策課長）

御指摘を踏まえ、支所に対しても、地域との関わりの中で考えている課題やニーズについて照会し、計画の中に反映させていきたい。

（副市長）

資料では、「各事業の取りまとめ確認作業」については政策課で行うとされている、こうしたところにも支所が関わるべきと考える。

(政策課長)

承知した。

(副市長)

もう一つ、資料に芦川地区の人口と世帯数の推移が示されているが、人口の減少に比べ、世帯数の減少が緩やかになっている。これは恐らく、高齢者の単身世帯が増えていることを表している。ここから、特に保健福祉の分野に新しいニーズがあることが伺える。保健福祉部は十分目配りし、こうしたニーズを汲み取っていくこと。

過疎計画は、元々は建設や基盤整備を中心とした意味合いが強いものであったが、今の計画はそれだけでなく、様々な分野におけるニーズを踏まえた計画となっている。その点に十分留意し、取り組むこと。

(政策課長)

御指摘の点に注意を払いながら、保健福祉部をはじめ各部局と連携して取り組んでいく。

4 その他

※ 令和7年度第5回定例庁議

8月7日（木） 午前10時30分～ 本館3階302会議室

5 閉会

午後1時45分 閉会